

たME役割状況のアンケート集計報告(発表 株式会社アイ・エム・ピー・センター 吉田雄次)の後、3名の臨床工学技士であるシンポジストが立会い規制後の状況・課題について発表し、参加者も含めてディスカッションが行われました。当日は、107名の参加者があり、多くの関係者の支援と協力のお蔭で盛大の内に第4回広島支部総会を終了することができました。

(文責:日本医療マネジメント学会広島支部事務局局長補佐 吉田雄次)

第5回鳥取地方会

学術集会会長: 同愛会博愛病院院長 渡邊淳子



会場風景

日本医療マネジメント学会鳥取地方会は、クリティカルパスの導入から始まり、クリティカルパスの質の向上を旨とし、医療の安全と質の確保をすすめてきました。そして、第4回より地域連携に関しても検討されるようになり、今後もさらに連携を強固にしていく必要がありました。そこで、第5回鳥取地方会のテーマを、「明日へつなぐ医療(連携と支援)」とし、平成20年9月13日(土)、米子市のビッグシップで開催いたしました。約250名の医療関係者に参加していただきました。

シンポジウムでは、鳥取県における地域連携と地域支援の現状と問題点、今後の構想について行政側、地域の主要病院などの第一線で活躍されている方々から6題の演題があり、積極的に討論していただきました。

一般演題27題、ポスターセッション12題、クリティカルパス展示13題といずれの会場も盛会で、大変熱のこもった討論が交わされました。

特別講演は、香川労災病院脳外科の藤本俊一郎先生から、「香川における地域連携クリティカルパス運用の現状と課題」と題して地域連携クリティカルパスについて講演していただきました。また、ランチョンセミナーでは、NTT東日本関東病院の針原康先生からSSIについて最新の知見について講演していただきました。

今回の地方会のテーマとなった地域連携と地域支援は、今後も医療マネジメントの核となるものです。参加していただいた方々が、この地方会で連携の必要性を再認識し、さらにより地域連携がすすむものと確信しています。

最後に、今回の地方会開催にあたり、ご協力頂きました皆様に心からお礼申し上げます。

(文責:同愛会博愛病院 外科部長 角 賢一)

第2回三重地方会

学術集会会長: 国立病院機構三重中央医療センター院長 坂井 隆

平成20年9月20日(土)、三重中央医療センター研修棟会議室にて日本医療マネジメント学会第2回三重地方会が開催されました。開催前日には台風13号の到来で大雨となり開催への影響が心配されましたが、当日は天気



会場風景

も回復し県内の医療機関を中心に110名が参加して昨年同様に盛況な地方会となりました。今回は「患者様にやさしい三重の地域医療をめざして」をメインテーマに17演題の応募があり活発な討論が行

われました。特別講演では日本医療マネジメント学会副理事長の武藤正樹先生が「新たな地域医療計画と地域連携クリティカルパス」と題して今後の地域医療で重要となる疾患、それに対応した地域連携クリティカルパスについて判りやすくお話していただき、今回も好評のうちに三重地方会を終えることができました。今後は県内で学会参加への啓蒙を続けるとともに、より多くの医療機関に地方会運営への参加を呼びかけて、学会活動を活性化して行く所存です。

(文責:国立病院機構三重中央医療センター小児科医長、医療情報室長 田中滋己)

第1回福岡支部例会

代表世話人: 国立病院機構九州医療センター副院長 冷牟田浩司



会場風景

福岡支部では学術集会所を年1回開催していますが、時事に即した身近な問題について自由闊達に意見・情報交換をしたいという地方会会員の切なる要望で、「福岡支部例会」を新たに開催しました。9月

27日(土)、九州医療センター講堂において「がん診療連携を考える」をテーマとして開催されました。前半は福岡県がん診療連携拠点病院から今後の方向性について、そして相談支援センターや緩和ケアについての取り組みが四国がんセンターより発表され、後半はがん診療連携医療の在り方について各施設の具体的取り組みを題材にシンポジウムが行われました。がん診療連携に関心のある医師、看護師、MSWなど120名の医療従事者の参加者で予想以上の熱心な充実した会となりました。得られた情報を各施設で今後のがん診療に活かしてもらいたいと思います。今後、この例会は年次学術集会とともに福岡支部の中心的活動として年1回開催してゆくことになっています。

第8回北海道地方会

学術集会会長: JA北海道厚生連帯広厚生病院副院長 関下芳明

第8回北海道地方会学術集会が、平成20年10月4日(土)に、帯広道新ホールにおいて開催されました。秋も深まり行く中、多くの職種から約100名の参加がありました。メインテーマを「チーム医療と医療連携」とし、一般演題24題の発表がありました。DPC、地域連携クリティカルパス、リスクマネジメント、感染管理、患者ケア、NSTなど多彩な分野で活発な討論が行われました。